

総務

問 案内係として配置されているフロアマネージャーの目的と効果は。
また、なぜ課長職はやらなくなったのか。

答 合併協定事項に基づく新市の行政サービスとして、来庁者への総合的な案内を目的に、平成18年4月から市役所1階ロビーに職員1名を配置しています。

効果については、平成19年8月から翌年3月、平成23年1月から同年6月の間、それぞれフロアマネージャーの応接件数を調査した結果、1日当たりの応接件数は44件と47件でした。

また、市民の方からお礼の手紙をいただいたこともあり、来庁者の利便に役立っているものと評価しています。

なお、課長職については、課内のマネジメントとして、各業務にわたる指示事項等があることから、フロアマネージャーから外しました。

問 市立幼稚園、小学校、中学校で用務員として働く人の雇用は、市が直接雇用すべきと考えるが。

答 学校用務員業務については、匝瑳市行政改革大綱に基づき、民間委託の推進を検討した結果、平成20年度から全面業務委託となり、用務員の質の低下や労働条件の低下を招かないように入札、契約の際の業務委託約款、仕様書等で労働関係や社会保険関係の法令等を遵守するように明記して

ます。

また、学校用務員業務については、効率的な行政運営を図るため、直接雇用でなくとも適切な公共サービスが提供できる場合は、行政改革大綱においても民間委託あるいは指定管理者制度を導入するという方針をもっており、今後ともこの方針に基づき対応していきたいと考えています。

問 指定管理者制度活用のもとで雇用のあり方は。また、民間会社に入材の派遣を委託している事業は。

答 ふれあいパーク八日市場のほか、就労支援事業所ほほえみ園及び地区コミュニティセンター9施設の合計11施設で指定管理者制度を導入しており、雇用のあり方については市の認識としては、従業員の雇用は指定管理者が行うものであり、市は関与いたしません。労働法令を遵守することは当然であると考えています。

また、現在、人材の派遣について委託契約をしているものはありません。

教育

問 通学路の安全対策について、児童・生徒の交通事故防止の改善の進捗状況は。改善されない箇所はどのような問題があるか。

答 それぞれの危険箇所の状況に応じた安全対策を協議し、学校職員等による見守りや指導の強化、ガード

選挙

問 期日前投票について、利用者の推移はどうか、制度の概要と意義は。

答 期日前投票の利用者の推移は、初めて施行された平成16年の参議院議員通常選挙では約2,800人の投票でしたが、昨年の衆議院議員総選挙では約4,700人が投票するなど、過去3年間の選挙では、有権者の約14%から18%に当たる約4,700人から約6,000人が利用している状況です。

概要と意義は、選挙期日に仕事など一定の理由により投票にいけない方に選挙期日と同様の方法で投票ができる制度であり、投票を行いやすくし投票率の向上を目的としています。

また、宣誓書のダウンロードは、今回の千葉県知事選挙においては、県内37市中14市が実施しており、投票率向上の観点から、今後、選挙管理委員会で検討を進めたいと考えています。

問 投票環境の改善について、投票所出入り口の段差の解消の現状は。

答 高齢者や障害者が投票しやすい設備や備品の現状は、期日前投票所をスロープのある市役所玄関ロビーや段差の少ない野栄福祉センター玄関ロビーに設置するとともに、当日投票所についてもスロープの設置など段差の解消を図っています。

また、高齢者や障害者が投票しやすい設備や備品については、車いす、車いす用記載台、点字による候補者名簿、点字器、老眼鏡、拡大鏡等の備品を配備するなど、高齢者や障害者に配慮した投票環境の整備に努めています。

観光振興

問 飯高檀林周辺の観光化についての考えは。

答 飯高檀林跡を中心に巨樹・巨木あるいは日本の里山100選の地があり、本

市の観光拠点と考えます。散歩のまち匝瑳を推進する上でも、飯高地区は歴史遺産と里山が織りなす重要な観光ポイントと認識しています。

また、飯高檀林及び周辺地域にこられた観光客にアンケート調査の実施を求め、調査結果をもとに観光振興の推進を図る上で有効なものと考え、調査方法について今後検討していきたいと考えています。



▲ 飯高檀林 新緑祭

空き家バンク

問 空き家バンクの現状は。また、危険な状態のまま長年放置されている空き家等について、問題解決されない理由をどのように考えているか。

答 定住促進空き家バンク事業を昨年7月に立ち上げ、空き家の有効活用と移住・定住の促進による地域の活性化に取り組んでいるところです。

2月末時点の状況は、空き家の登録物件数が5件、情報利用の登録者数が6件で、売買または賃貸借の契約に至ったものは3件という状況です。

なお、危険な状態になっている空き家、廃屋等の実態調査は行っていません。また、問題解決されない理由は、建物の管理は所有者あるいは管理者による適正管理が原則であり、古い建物であっても、所有者や相続人の資産なのでその考え方もさまざまであると考

国保

問 平成24年度の国保税率引き上げで一層納付が困難になっている。

答 国民健康保険税は、加入世帯の所得の低迷、被保険者数の減少等により減少傾向にあり、歳出では、高

分協力しながら対応に努めたいと考えています。また、今後の安全点検については、今回の緊急合同点検により通学路の危険箇所について、学校、関係機関の注意が高まり、連携が一層促進されたこと認識しており、今後も関係する部署との連携を強化するとともに、学校、保護者、地域からの情報収集に努め、子どもたちを交通事故から守るため取り組んでいきたいと考えています。

また、今後の安全点検にレールや注意看板などの設置、消えかけている停止線の復旧などの安全対策が順次進められており、広く周知、確認できるようにホームページの中で公開していきます。対策の中には、歩道を設置するために土地の取得が必要な箇所や信号機、横断歩道の新設が検討される箇所など来年度以降に持ち越すことが予想されるものがあります。早い段階で安全な通学路の実現が可能となるよう関係機関と十

市役所出入り口の段差の解消の現状は。高齢者や障害者が投票しやすい設備や備品の現状は、期日前投票所をスロープのある市役所玄関ロビーや段差の少ない野栄福祉センター玄関ロビーに設置するとともに、当日投票所についてもスロープの設置など段差の解消を図っています。

また、高齢者や障害者が投票しやすい設備や備品については、車いす、車いす用記載台、点字による候補者名簿、点字器、老眼鏡、拡大鏡等の備品を配備するなど、高齢者や障害者に配慮した投票環境の整備に努めています。

また、飯高檀林及び周辺地域にこられた観光客にアンケート調査の実施を求め、調査結果をもとに観光振興の推進を図る上で有効なものと考え、調査方法について今後検討していきたいと考えています。

また、危険な状態のまま長年放置されている空き家等について、問題解決されない理由をどのように考えているか。

定住促進空き家バンク事業を昨年7月に立ち上げ、空き家の有効活用と移住・定住の促進による地域の活性化に取り組んでいるところです。

2月末時点の状況は、空き家の登録物件数が5件、情報利用の登録者数が6件で、売買または賃貸借の契約に至ったものは3件という状況です。

なお、危険な状態になっている空き家、廃屋等の実態調査は行っていません。また、問題解決されない理由は、建物の管理は所有者あるいは管理者による適正管理が原則であり、古い建物であっても、所有者や相続人の資産なのでその考え方もさまざまであると考

えられます。

しい状況にありますので、国保運営協議会で御審議をいただき、国民健康保険事業財政健全化計画を策定いたしました。税率改正や一般会計からの繰り入れを行い、健全化に取り組んでいますので、国民健康保険税の引き下げは非常に難しいと考えています。